



幼稚園だより

令和5年度
4月号

こどもがまんなかの社会

令和5年4月7日
文京区立湯島幼稚園
園長 前田 宏子

ご入園 ご進級おめでとうございます

今年は園庭の桜も早くから咲き始めました。花びらがたくさん落ちると子どもたちが集めたり、集めた花びらを舞わせたりして遊んでいました。たくさんのビルに囲まれた場所ですが、幼稚園には自然を感じることができる環境が整えられています。季節は待ったなしのその時にしか感じることはできません。その瞬間を逃さず感じる心を大事にしていきたいと思います。

幼稚園は子どもたちが初めて出会う学校です。(学校教育法第一章第一条)幼稚園では教科書はありませんが、毎日の生活や遊びの中での出来事が子どもにとっての学びにつながっています。私たち教師は子どもたちが成長していくために、いかに適切な環境を用意し、適切な援助をしていくかを考えながら保育をしています。この4月1日にはこども家庭庁が創設し、“こどもがまんなかの社会を実現”していくことを目指しています。幼稚園の生活はもちろん子どもを真ん中にしています。“こどもがまんなかの社会”の実現はきっと大人にとっても過ごしやすい社会の提案になっていると感じます。子どもとの生活の中で、子どもの見方や感じ方に違いを感じる場合があります。その違いを面白がれる気持ちの余裕をもって過ごせるようになると、きっと“こどもがまんなかの社会”に近づくのではないのでしょうか。そして、子どもも大人も同じように“まんなか”になれる社会を創っていけるといいですね。

◎よく遊ぶ子ども ○やさしい子ども ○考えるこども

上記の三点を湯島幼稚園の教育目標の柱とし、今年度はよく遊ぶ子どもを重点目標として幼児教育を行っていきます。また、11月に「ごっこ遊びを通して、幼児の自己表現力を育む」をテーマに研究発表を行います。

今年度は総勢25名の教職員で幼稚園の生活を進めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。